

# 講義録レポート

講義録コード

05-18-1-201-01

講座	宅建取引士講座	科目①	基本講義
目標年	2018年合格目標	科目②	民法等
コース		回数	1 回
		通算回数	回
用途	<input type="checkbox"/> 個別DVD ・ <input type="checkbox"/> 集合DVD ・ <input checked="" type="checkbox"/> Web通信 ・ <input checked="" type="checkbox"/> DVD通信		

収録日	2017年 12月 21日		
講師名	木曾 計行	内 訳	
		板書枚数	4枚 ※レポート含まず
		補助レジュメ枚数	1枚
		その他(判断の目安)	1枚

授業構成	前半 66分 → 休憩 10分 → 後半 75分		
実施テスト	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		
対応テスト	<ミニテスト>	( )	第 回
	<答練・演習>	( )	第 回
使用教材	●基本テキスト(民法等)		
	●トレーニング(民法等)		
配布教材	●基本テキスト(民法等)【058-1901-1003-15】		
	●トレーニング(民法等)【058-2901-1002-13】		
	●受講ガイド【058-8900-1035-14】(総合本科生・速修本科生のみ)		
	●補助レジュメ[板書(追加)「民法等」第1回]…1枚		講義録添付 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 )
	●その他[トレーニングの「解くべき問題」判断の目安]…1枚		講義録添付 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 )
備考	*DVDご視聴の方へ*正確な講義時間につきましては、DVDケースの背表紙下に記載されていますので適宜ご確認ください。 (例) ①51 記載の場合、前半講義 51分(答練・演習の場合は、解説もしくは事前講義 51分を表します)		
	<宅建士試験の申込について> ・宅建士試験の願書の配布時期・申込み方法・申込み期日等については必ずご自身で事前にご確認ください。 ・願書の取り寄せ・申込みはご自身で行うようお願い致します。 ※宅建士試験については(一財)不動産適正取引推進機構のホームページ( <a href="http://www.retio.or.jp/">http://www.retio.or.jp/</a> )をご確認ください。		

この講義録の著作権は、TAC株式会社または権利者に帰属しており、当社に無断で複製、改変、転載、転用、インターネット上にアップロードする等の著作権を侵害する行為は法律によって禁止されております。

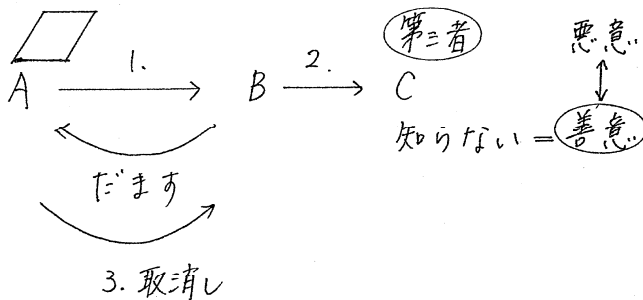
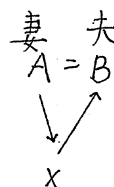
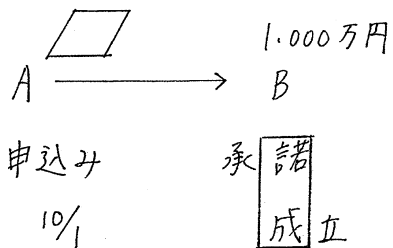
TAC宅地建物取引士講座

宅地建物取引士 講義録	コース講義等	基本講義	科目	民法等	回数	1

配布物	★テスト類 : [ ]	講師	木曾 先生
	★その他の配布物1 : [ ]		
	★その他の配布物2 : [ ]		

黒板内容

P.7



宅地建物取引士 講義録	コース・講義等	基本講義	科目	民法等	回数	1
-------------	---------	------	----	-----	----	---

配布物	★テスト類： [ ]	講師	木曾 先生
	★その他の配布物1： [ ]		
	★その他の配布物2： [ ]		

黒 板 内 容

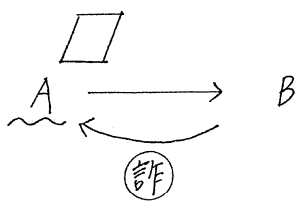
A  $\xrightarrow{1.}$  B  $\xrightarrow{2.}$  C  
 ← お返し →  
 3. 取消し  
 第三者  
 悪意 ↔ 善意  
 知らない = 善意

脅 迫

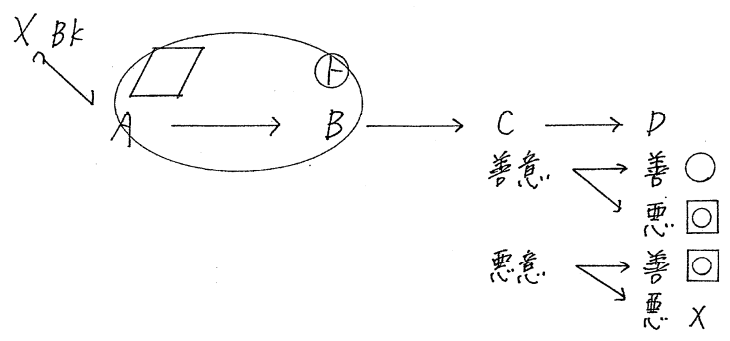
宅地建物取引士 講義録	コース講義等	基本講義	科 目	民法等	回 数	1

配布物	★テスト類： [ ]	講師	木曾 先生
	★その他の配布物1： [ ]		
	★その他の配布物2： [ ]		

黒 板 内 容



P. 16



宅地建物取引士 講義録	コース講義等	基本講義	科目	民法等	回数	1

配布物	★テスト類： [ ]	講師	木曾 先生
	★その他の配布物1： [ ]		
	★その他の配布物2： [ ]		

黒 板 内 容

P.15

P.17

# 板書 (追加)

2018 基本講義

「民法等」第1回

by 木曾

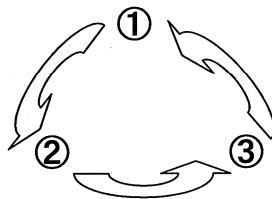
## 1. 基本講義の重要性

基本講義は、基礎力養成期における、合格の核となるインプットアイテム。

同時に、ミニテストや基礎答練などのアウトプット学習も併行。

## 2. 合格のための必勝学習法

### 基礎力養成期



①講義をしっかりきく、理解する、ポイントをつかむ、頭に入れる。

②復習では、ポイントを確認する、トレーニングを解く。

③ミニテストや基礎答練で、満点近くはとる。

①②③を、これから夏まで、熱い思いであきらめるほどにちゃんとやる。その繰り返し。



応用力養成期・直前対策期



**2018 年度 宅建士試験合格！**

## 2018年度「基本講義」受講生の皆さんへ

### トレーニングの「解くべき問題」判断の目安

いよいよ、TAC宅建士講座における宅建士試験対策の要である基本講義の開講です。

さて、宅建士試験に合格するためには、過去問（本試験問題）の検討が不可欠です。基本講義に沿って「トレーニング（本試験問題集）」を効果的にご活用ください（なお、問題を解くときは、ノートなどで右ページの解答・解説を隠して、じっくり考えてみましょう）。そのために、「本書の特徴と利用の仕方」（トレーニング冒頭に掲載）を必ずお読みください。

例えば、トレーニングには、その回の復習時の「解くべき問題」を判断する目安となる情報が随所に記載されています。トレーニング掲載の問題は全てが本試験に出題された問題ですから、本来、全ての問題に目を通すのがベスト。ただ、学習時間が十分にとれない場合もあるでしょう。そこで、「解くべき問題」を知ることが有用です（復習を始める前にまずその回の「後回しにしてもよい問題」に「✓」印等を付けてしまうのが簡単です）。

試しに、「基本講義」の「民法等」第1回目について、復習時に「解くべき問題」をセレクトしてみましょう（順に割愛していきます）。

- ①まず、トレーニングは「分野ごとに攻略できる“分野別問題集”」。トレーニングの章や節をみれば、ほとんどの場合その回の範囲が分かります。「民法等」第1回目の範囲は第2章第1節まで。したがって、問7までの7問が今回の範囲の問題です。
- ②全ての問題が、「難易度（重要度）によって、“A・B・C”に分類」されています。時間がなければ、A・Bランクの問題だけを解く（もっとも時間がなければ、涙をのんで、Aランクだけ。やむを得ません。ただし、Bランクの問題も後でやっておきましょう）。第1回目は問6だけがCランクの問題ですから、これを割愛。
- ③次に、基本テキストに載せるほどではない「ハイレベルの発展問題などに“▼印”が問題肢の冒頭についています。今回は、1肢もありますが、あればその肢は割愛。
- ④「基本重要事項がわかる“基本テキストのPOINT番号”の利用」によって、今回は、解説文の末尾にPOINT番号の記載のない問2-4、問4-2、問6、問7-2・3・4をとばす。
- ⑤また、後で学習する事項には「今はやらなくてよい問題がわかる“（あと）”や“後で学習”表示」が、問題肢の冒頭や、解説文の末尾に記載されています（“後で学習”表示は、例えば問5-3なら「対抗問題については、第9章第2節で学習する」と記載されています）。今回は、問3-4、問5-3が後回し（ただし、範囲の確認が面倒なら、「（あと）」表示があれば、後回しでほぼOK）。
- ⑥さらに、正解できなかった問題の「自分のやるべき問題がわかるチェックボックス“□□□”」に「×」等を記入しておけば、後に自分の弱点だけをカバーすることもできます。

以上から、「民法等」第1回目の「解くべき問題」は、問7までで、問2-4、問3-4、問4-2、問5-3、問6、問7-2・3・4以外の問題。つまり、

問1、問2-1・2・3、問3-1・2・3、問4-1・3・4、  
問5-1・2・4、問7-1

第2回目以降の講義やその後の反復練習の際も、上記のアイテムを使って、「ご自身」の「解くべき問題」を決めていってください。

では、これからがんばっていきましょう！

TAC宅建士講座